

コードリーダー

取扱説明書(保証書付)

HCK-301



 株式会社 日立オートパーツ&サービス

このたびは、コードリーダーHCK-301をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいた
だいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意	1~3
使用上のご注意	4
製品の特長	5
構成部品一覧表	6
本体各部の名称と働き	7
仕様	
1. 一般仕様	8
2. 対応車両	8
ご使用になる前に	
1. DTC(故障コード)の構成	9
2. オートパワーオフ機能	9
3. 電池の取り付け	10
4. 日付/時刻設定	11~12
使用方法	
1. DTC(故障コード)の読み取り	13~17
2. 診断データの保存	17~18
3. DTC(故障コード)の消去	18~19
4. PCとの接続	20~21
メニュー画面	
1. 保存データの確認	22
2. 日付/時刻の再設定	23
3. バージョン情報	23
保守管理	
電池の交換	24
故障かな? という場合に	25
ホームページのご案内	26
保証規定	27
保証書	28
お問い合わせ先	29

安全上のご注意(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

- 表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



この絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

ケーブルに足を引っかけて転倒しないように注意する けがの原因となります。	
ギアがパーキング(MT車の場合ニュートラル)になっていることを確認する 測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
サイドブレーキが確実に引かれていることを確認する 測定中に車が動いてしまい、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
本製品を接続した状態で車を走行させない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
本製品を接続した状態で、電池カバーを開けない 感電の原因となります。	
ぬれた手で電池交換を行わない 感電の原因となります。	
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
ぬらしたりしない 火災や感電の原因となります。	
故障のまま使用しない 画面が表示されない、スイッチが操作できないなどの故障の状態でご使用しないでください。すぐにご使用を中止してお買上げの販売店にご相談ください。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。	
USB端子を指で触れたり異物を入れない 事故や感電、火災、本製品の故障、破損の原因となります。	
直射日光があたる場所や高温になる場所に置いたり、炎天下の車室内に放置しない 火災や感電、故障などの原因となります。	
整備の際、手や手袋、衣服などが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き込まれないように注意する けがの原因となります。	
整備の際、排気部などのエンジンの高温部分に触れないように注意する やけどの原因となります。	 

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

異常のまま使用しない

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐにご使用を中止してください。
また、お買上げの販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



分解や改造はしない

火災や感電、故障などの原因となります。



ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない

火災や感電の原因となります。



電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



注意

本体やケーブルが、エンジンのベルトなどの回転部分に巻き込まれないように注意する

ショートや断線により、事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。



本体やケーブル類が、排気部等のエンジンの高温部分に触れないように注意する

事故、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。



本製品を長期間使用しない場合は車両から取り外す

車両バッテリーの消耗および発火の原因となります。



本体画面表示部をたたいたり、強く押ししたり傷をつけたりしない

画面表示部の故障、破損の原因となります。



付属品以外のUSBケーブルは使用しない

本製品やPCの故障の原因となります。



指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となります。



電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおりに入れる

間違えると電池の破裂、液もれによる、火災・けがや周囲を破損する原因となります。



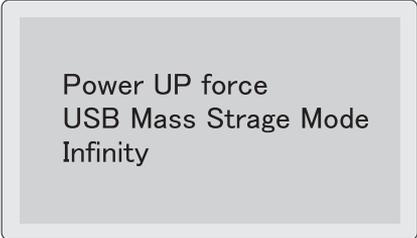
電池を破棄する場合は、プラス⊕・マイナス⊖端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄する

他の金属片など導通性のあるものと一緒に破棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となります。



使用上のご注意

- 端子部分にエンジンオイルを付着させないでください。接触不良の原因となります。
- エンジンオイル、ガソリン、不凍液およびバッテリー液を本体に付着させないでください。本体表面の変質の原因となります。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。割れの原因となります。
- イグニッションキーONの状態でもBD II コネクターを抜かないでください。故障の原因となります。
- 気温0℃～40℃、湿度80%以下の環境でご使用ください。正確な測定ができません。
- ケーブルの被覆が破れた場合は、ショートのおそれがありますので、ご使用を中止し新しい物に交換してください。
- 長期間使用しない場合には、電池を取り外してください。消耗した電池を内蔵したまま放置すると、電解液がもれ出して内部を腐食することがあります。
- 診断の際は、エンジンを始動しないでください。本体が正常に動作しません。
- △(上スクロール)キー、▽(下スクロール)キー、 (消去)キーを押しながら電源を入れると、右記の画面が表示され、すべてのキー操作ができなくなります。
この場合、電池カバーを外し(P24参照)電池を取り出すと電源がOFFになり、再度電池を取り付けると正常な状態に戻ります。



Power UP force
USB Mass Storage Mode
Infinity

取り扱いについて

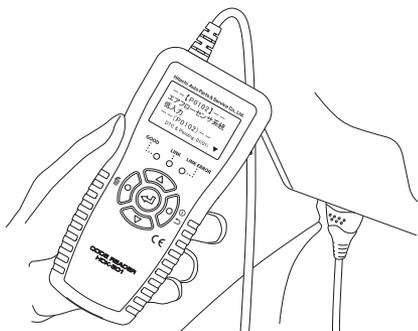
- 衝撃を与えないでください。
本製品を落下、たたかなどして衝撃を与えると故障の原因となります。
- ケーブルを無理に引っ張らないでください。
OBD II コネクターやUSBケーブルを外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。外す際は、コネクターを持って外してください。

保管場所について

- 下記の場所には保管しないでください。
 - ・水のかかるところ
 - ・強い衝撃が加わるところ
 - ・気温-20℃以下60℃以上、湿度70%以上のところ
 - ・結露のあるところ
 - ・直射日光のあたるところ

製品の特長

- 本製品は車両から、DTC(故障コード)を読み取り、消去することができるコードリーダーです。



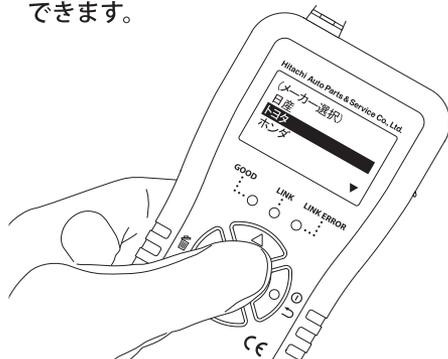
- 読み取ったDTC(故障コード)の内容を日本語で表示します。コード表を見て調べる必要がありません。



- フリーズフレームデータ対応で、DTC(故障コード)を記録したとき(故障が発生したとき)のエンジン各部のデータを表示することができます。



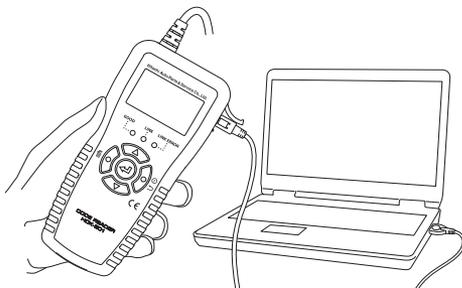
- ハンディーサイズなので片手で操作できます。



- 診断時のDTC(故障コード)、フリーズフレームデータおよび診断日時を最大99件記憶することができます。さらに付属のUSBケーブルでPCと接続し、診断データをテキストデータとして利用できます。



- 付属のUSBケーブルでPCと接続し、ソフトウェア、データベースをインターネットを利用してダウンロードすることで、バージョンアップが行えます(※)。

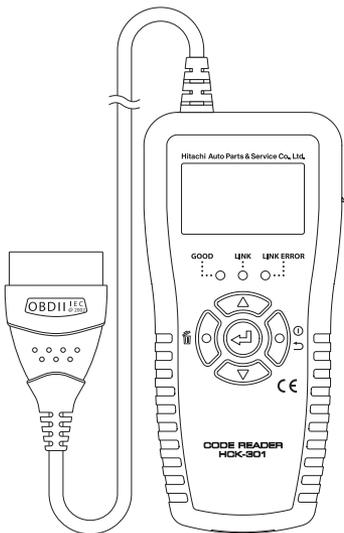


※PCとインターネットの環境が必要です。

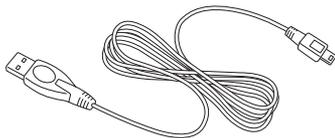
構成部品一覧表 (ご使用前にご確認ください。)

本製品には、下記のもが同梱されています。ご使用前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

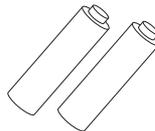
①コードリーダー本体…1台



②USBケーブル…1本



③電池 (1.5V R6P、単3マンガン)…2本

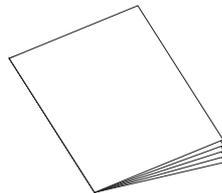


④キャリングケース…1個

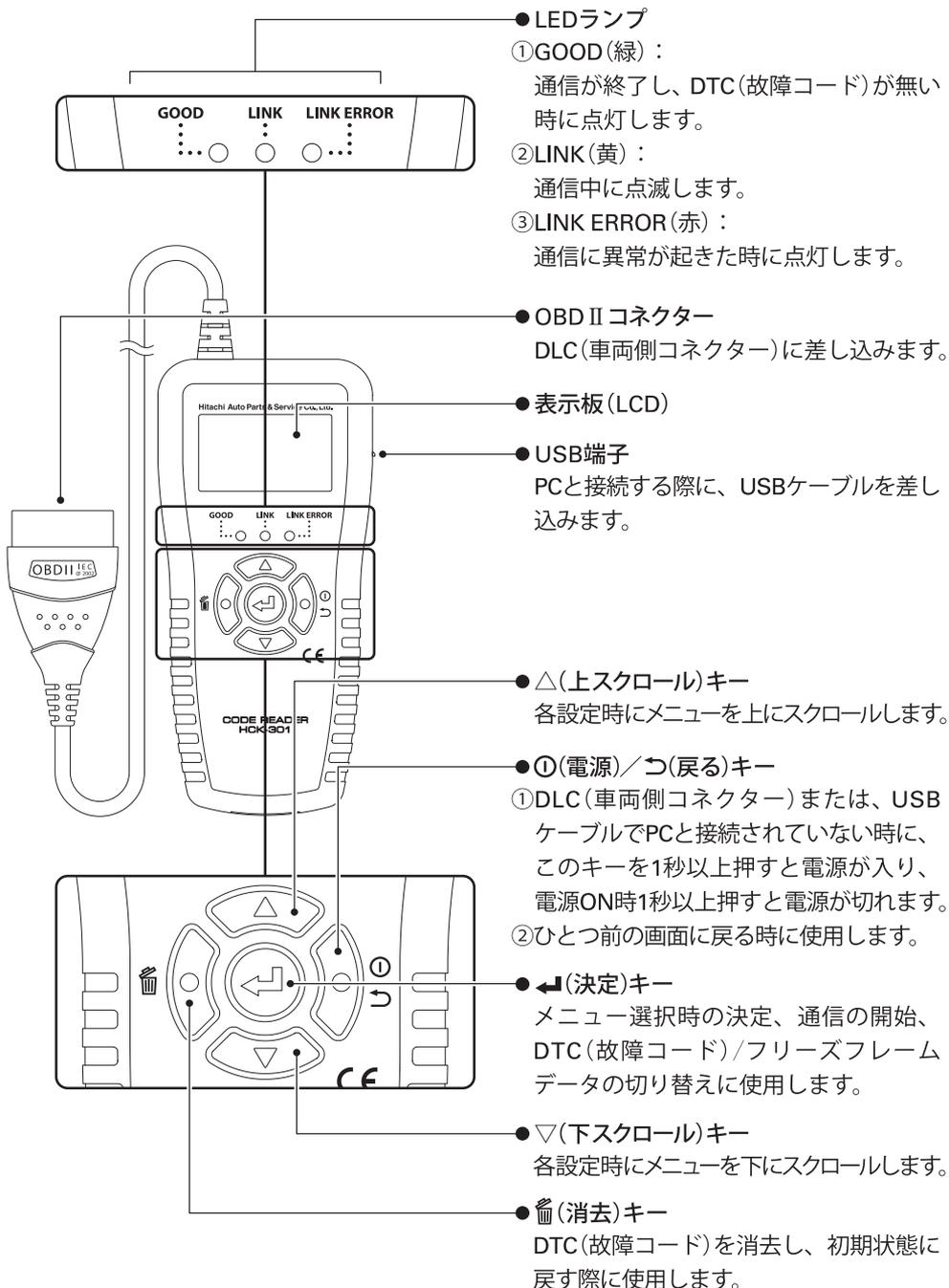


・電池交換の際は、市販の電池をお買い求めください。

⑤取扱説明書(保証書付)…1冊



本体各部の名称と働き



仕様

1. 一般仕様

1. 表示部	LCD(ドット表示：128×64ドット) 日本語表示対応
2. 使用温度・湿度	0～40℃、80%rh以下(ただし、結露のないこと)
3. 保存温度・湿度	-20～60℃、70%rh以下(ただし、結露のないこと)
4. 動作電源電圧	DC10～32V
5. 電源	1.5V R6PまたはLR6(単3)電池 2本 (外部接続が何もないときのみ電池駆動)
6. 消費電流	100mA以下(DC12V 作動時)、200mA以下(電池作動時)
7. LED表示	緑：DTC(故障コード)がなく、正常状態の時に点灯 黄色：車両との通信中に点滅 赤：通信エラーの際に点灯
8. 外部電源供給	DLC(車両側コネクタ)接続時、PC接続時
9. 電池消費表示	2.4V以下で  表示
10. データ保存	DTC(故障コード)、フリーズフレームデータ、診断日時、診断した車両のメーカー名、診断したシステム名を最大99件記憶 ※USB接続でPCへデータの移動が可能
11. バージョンアップ	USBケーブルでPCと接続してバージョンアップ可能
12. ケーブル長	1.8m(OBD II コネクタを含む)
13. プリンタ対応	USBケーブルでPCと接続して、PCから出力
14. フリーズフレームデータ	DTC(故障コード)表示中に、  (決定)キーを押して表示
15. オートパワーオフ	最終操作後、約30分で自動的に電源オフ
16. 安全基準	CEマーク認証
17. 寸法	190mm(H)×88mm(W)×32mm(D)
18. 質量	約410g(電池含まず)

※製品仕様および外観は予告なく変更することがあります。

2. 対応車両

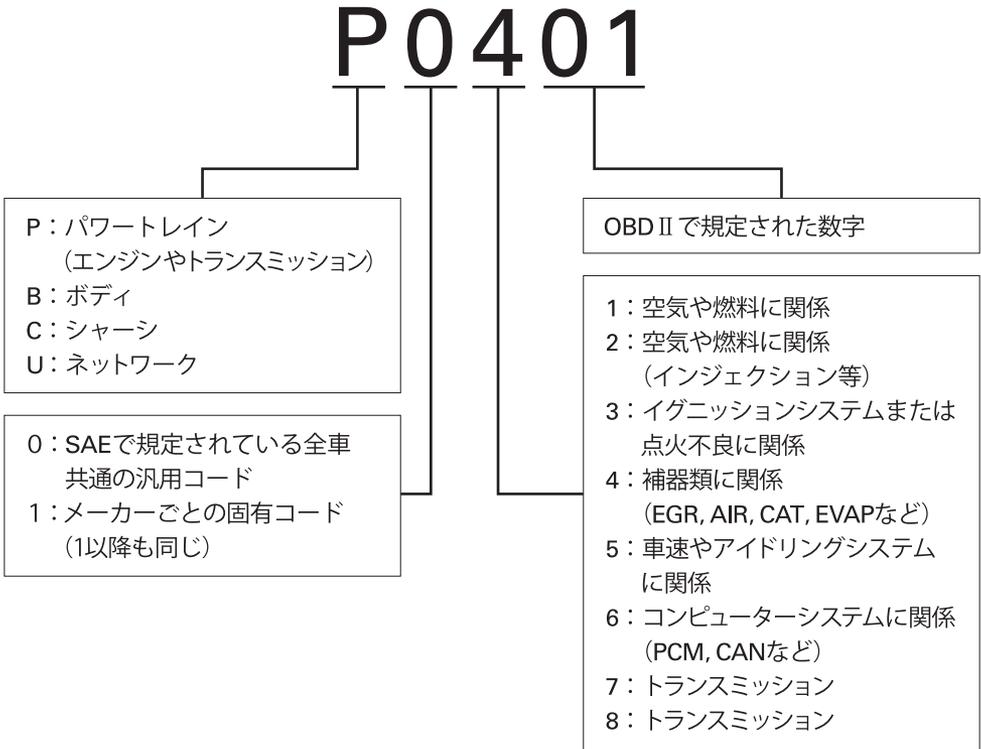
- 国際標準規格のDLC(車両側コネクタ)(SAE J1962/ISO 15031-3)を装備した車両。
 - 通信プロトコル：ISO 9141-2、ISO 14230-4、ISO 15765-4(CAN)、SAE J1850に対応。
- ※対応車両であっても、サポートされていない車両の場合は、通信できないことがあります。
- ※車両の状態(搭載ECUの故障発生、OBD II コネクタとDLC(車両側コネクタ)の接触不良、通信線の異常発生)により通信エラーが発生することがあります。

ご使用になる前に

1. DTC(故障コード)の構成

DTC(故障コード)はSAE J2012で規定されており、頭のアルファベット+4桁の数字で表されます。

例) P0401：排気ガス再循環流量不足検出



2. オートパワーオフ機能

電池駆動時に最終操作終了後、約30分で自動的に表示が消えて電源がOFFになります。

注：車両およびPC接続時には本機能は働きません。

注：オートパワーオフ時、および①(電源)キーで電源を切った後もわずかに電流を消費します。

解除：◀(決定)キーを押しながら①(電源)キーを1秒以上押し続けて電源ON。

ご使用になる前に

3. 電池の取り付け

⚠ 警告

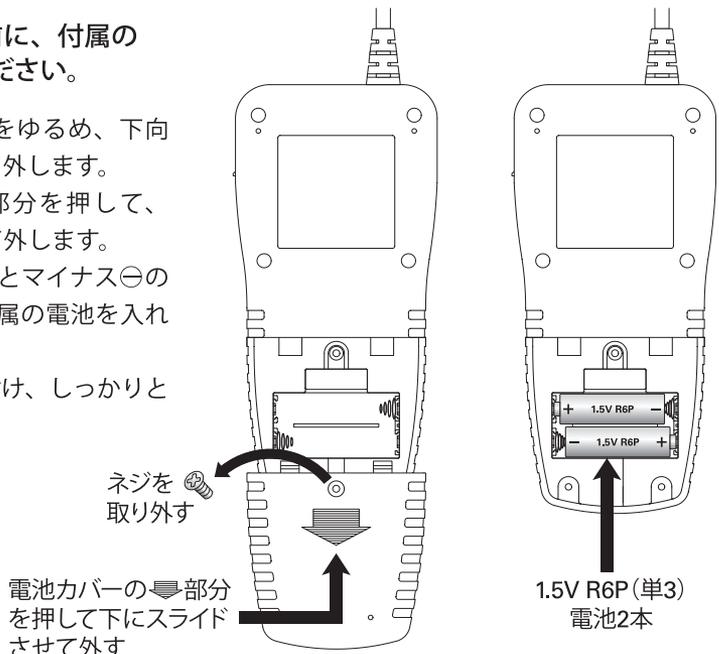
- 電池の取り付け・交換は、本製品を車両・PCから外した状態で行ってください。感電事故の原因となります。
- ぬれた手で電池交換を行わないでください。感電事故の原因となります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 注意

- 指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となります。
- 電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれによる、火災、けがや周囲を破損する原因となります。
- 電池を破棄する場合は、プラス⊕・マイナス⊖端子にテープを貼るなど絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。他の金属片など導通性のあるものと一緒に破棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となります。

本製品をご使用の前に、付属の電池を取り付けてください。

- ①電池カバーのネジをゆるめ、下向きにしてネジを取り外します。
- ②電池カバーの部分を押し、下にスライドさせて外します。
- ③極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意して付属の電池を入れます。
- ④電池カバーを取り付け、しっかりとネジを締めます。



ご使用になる前に

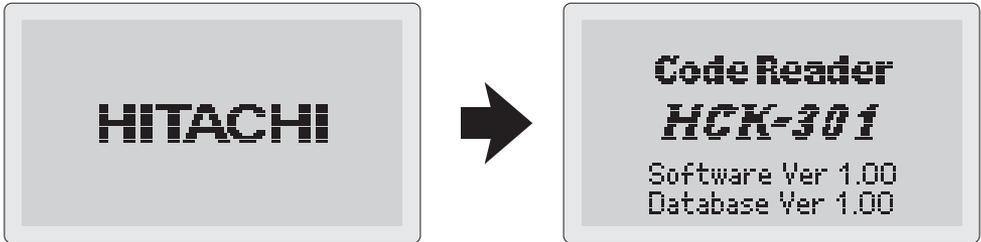
4. 日付／時刻設定

ご使用の前に、日時の設定を行ってください。

①本体の①(電源)キーを1秒以上押して電源を入れてください。次の画面が表示され、②の日付／時刻設定画面になります。

※初回電源ON時のみ②の日付／時刻設定画面に切り替わります。

※2回目以降の電源ON時はメニュー画面に切り替わります。(詳しくはP22を参照)



※この表示を省略したい場合は、←(決定)キーを押してください。

②初回電源ON時のみ右記の日付／時刻設定画面が表示されますので、日時の設定を行ってください。←(決定)キーを押すと年の表示が点滅します。

↶(戻る)キーを押すとP12⑤のメニュー画面へ移動します。



年の表示が点滅

※電池交換を行うと日時の設定がリセットされてしまいます。電池交換後の初回電源ON時は右記の画面に切り替わりますので、日時の再設定を行ってください。

(短時間の電池交換であれば、設定がリセットされない場合があります。)

ご使用になる前に

- ③△▽(上・下スクロール)キーで年を合わせて、
←(決定)キーを押すと点滅箇所が月の表示へ
移動します。月を合わせて←(決定)キーを
押すと点滅箇所が日の表示へ移動します。



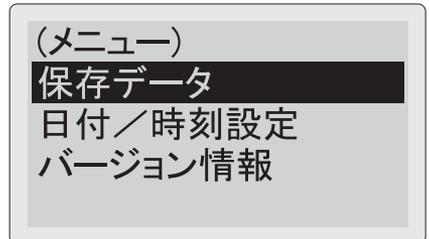
←(決定)キーを押すと
点滅箇所が移動

- ④同じ要領で分の表示まで合わせて←(決定)
キーを押すと秒が0になり、日付／時刻設定が
完了し、⑤のメニュー画面へ移動します。



分の表示まで合わせて
←(決定)キーを押す

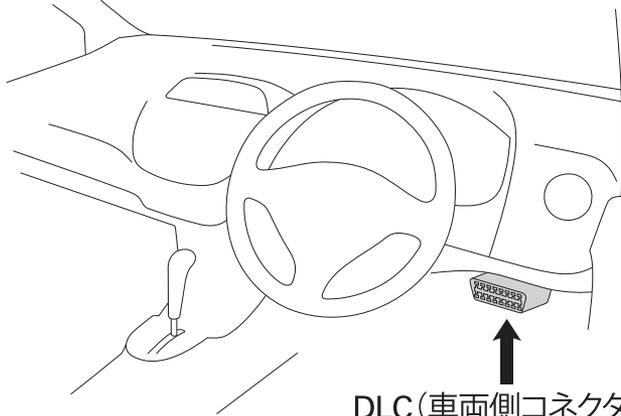
- ⑤右記のメニュー画面(P22参照)が表示され
ますので、⓪(電源)キーを1秒以上押して
電源をOFFにしてください。



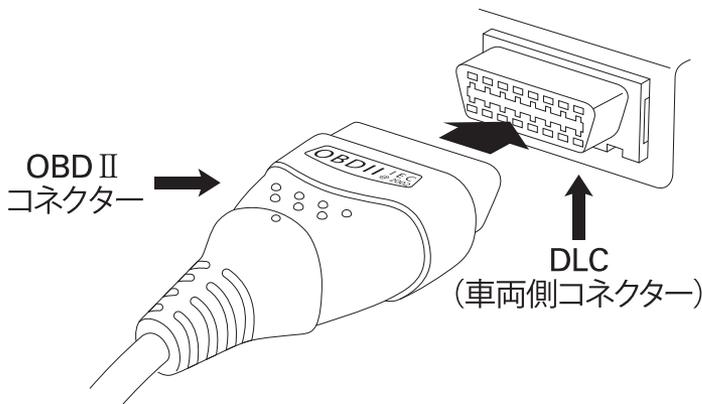
使用方法

1. DTC(故障コード)の読み取り

- ①DLC(車両側コネクター)の位置を確認してください。通常DLC(車両側コネクター)は運転席から手の届く範囲内にあります(コネクターの形状は台形です)。ほとんどの車種は運転席側ダッシュボード下部にあります。不明の場合は、車両のサービスマニュアルなどを確認してください。



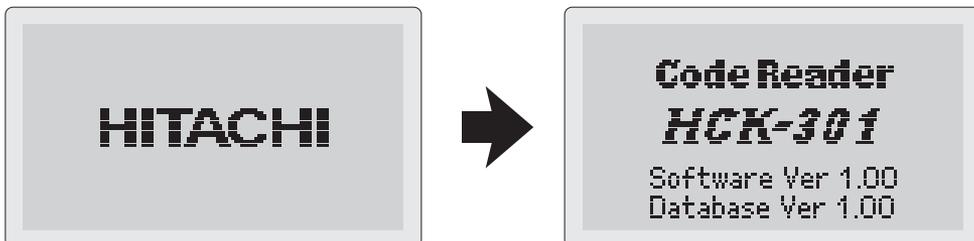
- ②車両のイグニッションキーがOFFになっていることを確認してください。
- ③DLC(車両側コネクター)にOBD II コネクターを差し込みます。コネクター部分の台形の形状が合うようにして、奥までしっかりと差し込んでください。



- 必ずイグニッションキーがOFFになっている状態で接続してください。イグニッションキーがONになっている状態で接続すると本体が故障する原因となります。

使用方法

- ④ OBD II コネクタを差し込むと、本体の電源が自動でONになります。次の画面が表示され⑤のメーカー選択になりますので、**車両のイグニッションキーをONにしてください。**
※エンジンを始動しないでください。本体が正常に動作しません。



※この表示を省略したい場合は、**◀** (決定) キーを押してください。

※日付/時刻設定が行われていない場合、P11の設定画面に切り替わります。

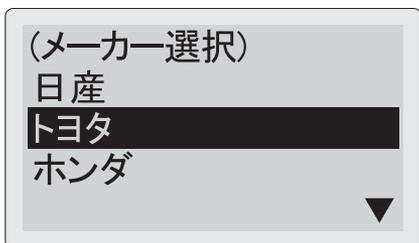


注意

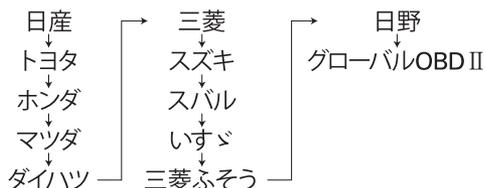
- イグニッションキーONの状態でもBD II コネクタを抜かないでください。故障の原因となります。
- イグニッションキーONの状態でも車両を長時間放置しないでください。バッテリー上がりの原因となります。

- ⑤ 本体と接続している車両のメーカーを選択します。△▽(上・下スクロール)キーでメーカー名を選び、**◀** (決定) キーを押してください。

※外国車の場合は“グローバルOBD II”を選択してください。



メーカー名は下記の順で表示されます。



- ⑥ 診断したいシステムを選択します。△▽(上・下スクロール)キーでシステム名を選び、**◀** (決定) キーを押してください。

※グローバルOBD II の場合、システム選択はエンジンのみになります。

⏪ (戻る) キーを押すと⑤のメーカー選択画面へ戻ります。

(システム選択)

エンジン
トランスミッション
ABS
エアバッグ

使用方法

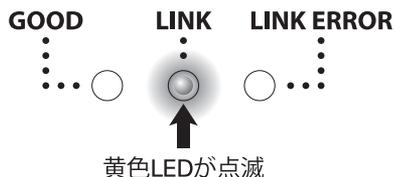
- ⑦右記の画面が表示されますので、イグニッションキーがONになっているのを確認し、**←**(決定)キーを押してください。

↶(戻る)キーを押すとP14⑥のシステム選択画面へ戻ります。

イグニッションキーが、ONになっているのを確認し、**←**キーを押してください。

- ⑧通信が開始し、右記の画面が表示されます。通信中は黄色LED(LINK)が点滅します。

通信中…



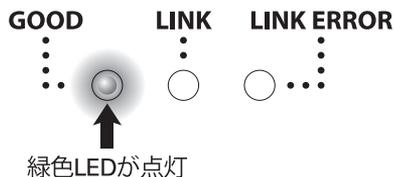
DTC(故障コード)がない場合

通信が終了し、選択したシステムにDTC(故障コード)がない場合は右記の画面が表示され、緑色LED(GOOD)が点灯します。

←(決定)キーを押すとP14⑥のシステム選択画面へ戻ります。

診断を終了する場合は、イグニッションキーをOFFにしてからOBDⅡコネクタを外してください。

DTCなし。
←キーを押してください。



使用方法

DTC(故障コード)がある場合

読み取ったDTC(故障コード)と内容を表示します。表示が次画面におよぶ場合は、画面右下に▼が表示されます。▽(下スクロール)キーを押して次画面を確認してください。

ペンディングコードも読み取り、表示します。

- ・DTC(故障コード):【 】表示
- ・ペンディングコード:()表示
- ・過去コード:{ }表示

⏪(戻る)キーを押すとP14 ⑥のシステム選択画面へ戻ります。

不明なDTC(故障コード)を読み取った場合、右記のように表示します。

※画面の表示は最大192行です。193行以降は表示できません。

ペンディングコードとは?

エンジン始動から停止までの周期 = 1トリップで、故障を検知すると仮故障として一時的に記録される故障コード(仮コード)。

●フリーズフレームデータがある場合

DTC(故障コード)表示画面時、⏩ (決定)キーを押すと“通信中…”の表示後、右記のようにフリーズフレームデータが表示されます。表示が次画面におよぶ場合は、画面右下に▼が表示されます。▽(下スクロール)キーを押して次画面を確認してください。

⏪(戻る)キーを押すとDTC(故障コード)表示画面へ戻ります。⏩ (決定)キーを押すとP17の診断データの保存へ進みます。

●フリーズフレームデータがない場合

DTC(故障コード)表示画面時、⏩ (決定)キーを押すと“通信中…”の表示後、右記の画面が表示されます。

⏪(戻る)キーを押すとDTC(故障コード)表示画面へ戻ります。⏩ (決定)キーを押すとP17の診断データの保存へ進みます。

—【P0102】—
エアフローセンサ系統低
入力
—(P0102)—
DTC & Pending: 01(01) ▼

DTC(故障コード)と
過去コードの数

ペンディングコードの数

不明なDTC(故障コード)を読み取った場合

—【P0001】—
整備マニュアルを参照し
てください。
DTC & Pending: 01(00) ▼

FF0
—【P0235】—
エンジン回転数
FF0 3560rpm
▲ (Freeze-Frame data) ▼

※表示に時間がかかる場合は“処理中”と表示します。

フリーズフレームデータ
はありません。

使用方法

通信異常の場合

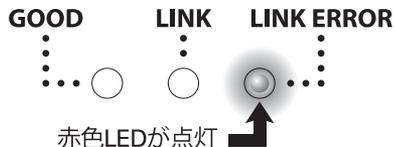
通信を中断し右記の画面が表示され、赤色LED(LINK ERROR)が点灯します。

◀(決定)キーを押すとP15 ⑦の画面へ戻ります。

※対応車両であっても、サポートされていない車両の場合は、通信できないことがあります。また、車両の状態(搭載ECUの故障発生、OBDⅡコネクタとDLC(車両側コネクタ)の接触不良、通信線の異常発生)により通信エラーが発生することがあります。

通信エラー

◀キーを押してください。



2. 診断データの保存

下記の診断データを最大99件記憶することができます。

- ・ 診断日時
- ・ 診断したシステム名
- ・ フリーズフレームデータ
- ・ 診断した車両のメーカー名
- ・ DTC(故障コード)

※本体の日時が正しく設定されていない場合、診断日時が正しく保存されません。P23 “日付/時刻の再設定”を参照し、日時を正しく設定してください。

※保存データが99件を超えた場合、最も古いデータから自動的に削除されます。

- ①フリーズフレームデータ表示画面で、◀(決定)キーを押すと、右記の画面が表示されます。
はいを選択：②の保存終了画面へ進む
いいえを選択：保存せずにフリーズフレームデータ表示画面へ戻る

DTCおよび
フリーズフレームデータ
を保存しますか？

はい
いいえ

- ②はいを選択すると右記の画面が表示され、データの保存が終了します。

◀(決定)キーを押すとフリーズフレームデータ表示画面へ戻ります。

DTCおよび
フリーズフレームデータ
を保存しました。

◀キーを押してください。

使用方法

保存データが99件を超えていた場合

①保存データが99件を超えていた場合、右記の画面が表示されます。

はいを選択：最も古いデータを上書き、②の保存終了画面へ進む

いいえを選択：保存せずにフリーズフレームデータ表示画面へ戻る

データの保存量が
99をこえています。
上書きしますか？

はい

いいえ

②はいを選択すると右記の画面が表示され、データの保存が終了します。

◀(決定)キーを押すとフリーズフレームデータ表示画面へ戻ります。

DTCおよび
フリーズフレームデータ
を保存しました。
◀キーを押してくだ
さい。

3. DTC(故障コード)の消去

DTC(故障コード)がある場合、車両に記憶されているDTC(故障コード)およびフリーズフレームデータの消去を行うことができます。故障個所の修理完了後、DTC(故障コード)の消去を行ってください。

①P16のDTC(故障コード)表示画面またはフリーズフレームデータ表示画面で  (消去) キーを押すと、右記の画面が表示されます。

はいを選択：②の消去完了画面へ進む

いいえを選択：DTC(故障コード)表示画面またはフリーズフレームデータ表示画面へ戻る

(消去しますか?)

はい

いいえ

⏪(戻る)キーを押すと前画面へ戻ります。



注意

●DTC(故障コード)を消去する前に車両の故障個所の修理を行ってください。本製品でDTC(故障コード)を消去するだけでは、車両の不具合および故障は直りません。

使用方法

- ②右記の画面が表示され消去が完了します。
◀(決定)キーを押すと自動で再通信を行い、消去の確認を行います。

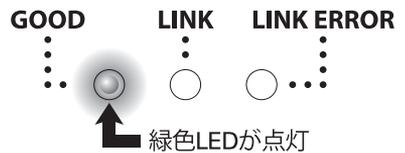
消去完了しました。
◀キーを押してください。

- ③再通信が実行され、DTC(故障コード)が消去されていれば右記の画面が表示され、緑色LED(GOOD)が点灯します。

◀(決定)キーを押すとP14⑥のシステム選択画面へ戻ります。

- ※DTC(故障コード)が再表示されてしまう場合は、故障個所の再点検を行ってください。

DTCなし。
◀キーを押してください。



- ④診断を終了する場合は、イグニッションキーをOFFにしてからOBDⅡコネクタを外してください。

- ※ECUからの指令でDTC(故障コード)が消去できない場合は、右記の画面が表示されます。この場合、本製品では消去できませんので、サービスマニュアルなどで確認してください。

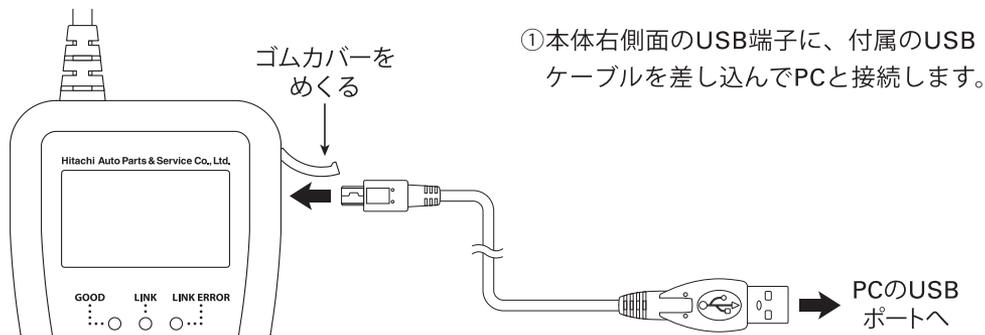
◀(決定)キーを押すとP16のDTC(故障コード)表示画面へ戻ります。

消去できませんでした。
◀キーを押してください。

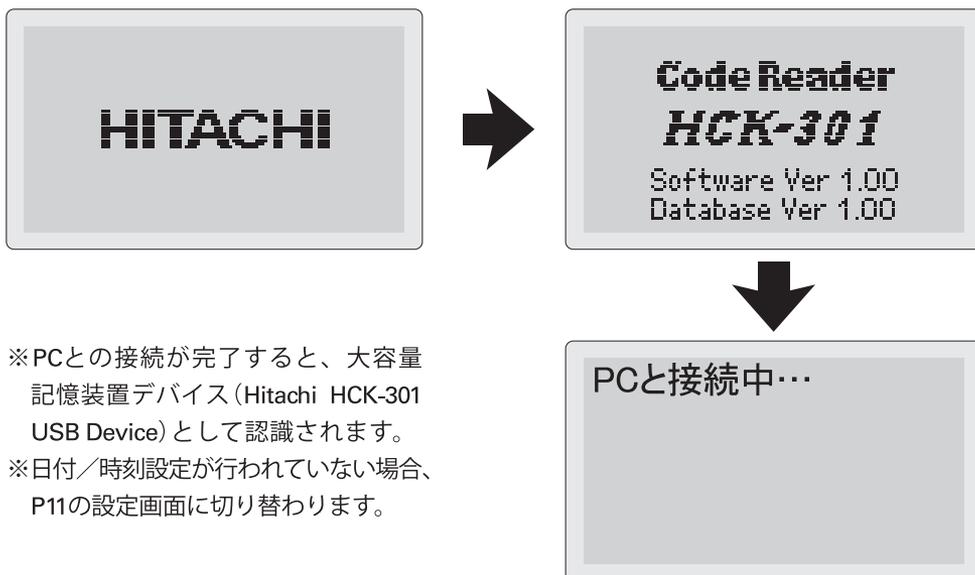
使用方法

4. PCとの接続

付属のUSBケーブルでPCと接続し、診断データをテキストデータとして利用できます。



② 電源がON状態のPCと接続すると本体の電源が自動でONになり、画面に次の表示がされます。



- ※ PCとの接続が完了すると、大容量記憶装置デバイス (Hitachi HCK-301 USB Device) として認識されます。
- ※ 日付/時刻設定が行われていない場合、P11の設定画面に切り替わります。



注意

- USBケーブルを抜く際は、PC側からUSBの取り出しを指示してから抜いてください。故障の原因となる場合があります。

使用方法

- ③PC側からの操作で本体のメモリーにアクセスします。保存データの形式はテキストファイル、ファイル名は下記ようになります。

■ファイル名の例

NI_00001.TXT

メーカー名 ————— 00001~99999までの
データファイル番号

NI : 日産 DA : ダイハツ IS : いすゞ
TO : トヨタ MI : 三菱 FS : 三菱ふそう
HO : ホンダ SU : スズキ HI : 日野
MA : マツダ FU : スバル GL : グローバルOBD II

- ④データをPCに保存します。データはテキストファイルですのでPCから印刷できます。

■保存データの例

The screenshot shows a text file window titled "NI_00001.TXT - メモ帳". The content of the file is as follows:

```
HCK-301 2011/04/13
14:15:36
メーカー：日産
システム：エンジン

-- 【P0102】 --
エアフローセンサ系統
低入力
-- (P0102) --
エアフローセンサ系統
低入力
-- 【P0105】 --
吸気圧/大気圧センサ
系統

*FF0*
-- 【P0102】 --
エンジン回転数
*FF0* 3250rpm
エンジン冷却温度
*FF0* 58°C
インテークマニホール
ド絶対圧
*FF0* 62kPa
```

Annotations on the right side of the screenshot:

- データ保存日時 (Data save date and time)
- 診断した車両のメーカー名 (Manufacturer name of the diagnosed vehicle)
- 診断したシステム名 (Name of the diagnosed system)
- DTC(故障コード)、ペンディングコード (DTC (fault code), pending code)
- フリーズフレームデータ (Freeze frame data)

- ⑤USBケーブルを抜く際は、PC側からの操作でUSBの取り外しを指示してから抜いてください。

メニュー画面

本製品が車両やPCと接続されていない状態で、①(電源)キーを1秒以上押すと電池駆動で電源が入り、起動画面表示後に右記のメニュー画面が表示されます。

※初回電源ON時は、P11の日付/時刻設定画面が表示されます。

※電池駆動時は電池の消費を抑えるために、バックライトおよびLEDは点灯しません。

※電池が消耗している場合、P24の電池切れ画面が表示されますので、電池を交換してください。

電池駆動で電源ON時に①(電源)キーを1秒以上押すと電源がOFFになります。

メニュー画面

(メニュー)
保存データ
日付/時刻設定
バージョン情報

1. 保存データの確認

P17 “診断データの保存” で保存したDTC(故障コード)およびフリーズフレームデータを確認できます。

①メニュー画面で△▽(上・下スクロール)キーを押して“保存データ”を選択し、◀(決定)キーを押してください。右記のようにデータ選択画面が表示されます。

※保存データがない場合、“保存データはありません”と表示されます。

⏪(戻る)キーを押すとメニュー画面へ戻ります。

(データ選択)

NI_00001
MA_00002
HO_00003

②確認したいデータを選択して◀(決定)キーを押すと、右記のように保存したDTC(故障コード)、フリーズフレームデータが表示されます。

⏪(戻る)キーを押すと①のデータ選択画面へ戻ります。

(NI_00001.TXT)
HCK-301 2011/04/13
14:15:36
メーカー:日産
システム:エンジン

2. 日付／時刻の再設定

P11 “日付／時刻設定” で設定した日時を変更できます。

- ①メニュー画面で△▽(上・下スクロール)キーを押して“日付／時刻設定”を選択し、◀(決定)キーを押してください。右記のように日付／時刻設定画面が表示され、◀(決定)キーを押すと年の表示が点滅します。



↩(戻る)キーを押すとP22のメニュー画面へ移動します。

- ②△▽(上・下スクロール)キーで年の表示を合わせて、◀(決定)キーを押すと点滅箇所が月の表示へ移動します。分の表示まで合わせて◀(決定)キーを押すと秒が0になり、日付／時刻の再設定が完了し、メニュー画面へ戻ります。



3. バージョン情報

現在の日時、電池の残量、ソフトウェアおよびデータベースのバージョン、シリアルナンバーを表示します。

- ①メニュー画面で△▽(上・下スクロール)キーを押して“バージョン情報”を選択し、◀(決定)キーを押してください。下記のように現在の日時、電池の残量、ソフトウェアおよびデータベースのバージョンが表示されます。

現在の日時を表示します

電池の残量を表示します

■ 2.7V以上

▣ 2.7V未満～2.5V以上

□ 2.5V未満

ソフトウェアのバージョンを表示します

データベースのバージョンを表示します

本製品のシリアルナンバーを表示します

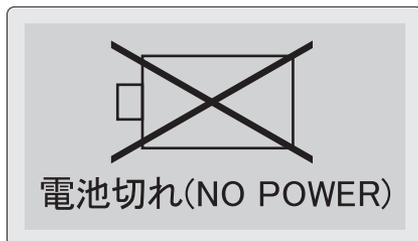


↩(戻る)キーを押すとメニュー画面へ戻ります。

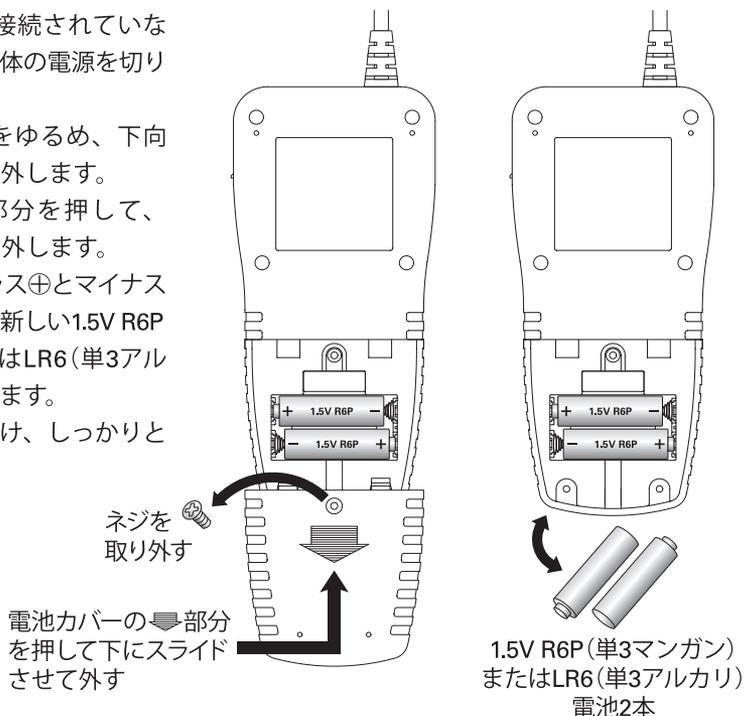
電池の交換

電池駆動で電源ON時、電池が消耗している場合は下記画面が表示されますので、次の手順で電池を交換してください。

※下記画面表示時は、すべてのキー操作が行えません。30秒後に自動で電源がOFFになります。



- ①本体が車両、PCと接続されていないことを確認し、本体の電源を切ります。
- ②電池カバーのネジをゆるめ、下向きにしてネジを取り外します。
- ③電池カバーの▼部分を押し、下にスライドさせて外します。
- ④電池の極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意して新しい1.5V R6P(単3マンガン)またはLR6(単3アルカリ)電池2本を入れます。
- ⑤電池カバーを取り付け、しっかりとネジを締めます。



故障かな？という場合に

故障かな？という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または
(株)日立オートパーツ&サービスにお問い合わせください。

症 状

原因と処置

電源が入らない

- 電池が消耗している。
→ 電池を交換してください。
- 電池の極性が違っている。
→ 電池極性を確認してください。
- ①(電源)キーが1秒以上押されていない。
→ ①(電源)キーを1秒以上押し続けてください。
- OBD II コネクタまたはUSBケーブルが奥までしっかりと差し込まれていない。
→ 奥までしっかりと差し込んでください。

電池駆動時に
電源が切れない

- ①(電源)キーが1秒以上押されていない。
→ ①(電源)キーを1秒以上押し続けてください。

DTC(故障コード)の
消去ができない

- 故障個所の不具合が解決されていない。
→ 故障個所の再点検を行ってください。

電池駆動時に
バックライト、LEDが
点灯しない

- 電池の消費を抑えるために、電池駆動時はバックライトおよびLEDは点灯しません。
→ 故障ではありません。

ホームページのご案内

株式会社 日立オートパーツ&サービスのホームページより、コードリーダー(型式:HCK-301)の製品情報閲覧やバージョンアップ用プログラム・データファイルをダウンロードすることができます。以下のURLにアクセスし、希望ページへおすすみください。

1. 株式会社 日立オートパーツ&サービス ホームページ URL

<http://www.hitachi-autoparts.co.jp>



こちらより専用ページにアクセスしてください。

2. コードリーダー(型式:HCK-301)製品ページ URL

http://www.hitachi-autoparts.co.jp/products/hck/hck_301.html

(1) 製品情報

製品情報の閲覧や取扱説明書(pdf)などのダウンロード/印刷が可能です。

(2) バージョンアップ

内蔵ソフトのアップグレードが可能です。コードリーダー製品ページへアクセスしてください。ソフトのバージョンアップは、本体を付属のUSBケーブルでPCに接続し、インターネット経由にて実施します。

詳しくは、ホームページにある「HCK-301バージョンアップ情報」よりご確認ください。その他、製品に関する最新情報やバージョンアップ情報をホームページ上にてご案内いたします。詳細につきましては、ホームページにてご確認ください。

保証規定

1. 取扱説明書などの注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料で故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
3. 不当な改造については弊社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料および諸掛りはおお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包のうえ、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
5. 次のような場合には、保証期間内でも保証の対象となりません。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書にシリアルNo、お買い上げ日、販売店名、販売店印などの記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃など、お客様の取り扱いが適切でないために生じた故障および損害。
 - (4) お客様による使用上の誤り、各構成部品の紛失、あるいは修理による故障および損害。
 - (5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損害。
 - (6) 本製品に接続している弊社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損害。
 - (7) 離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
6. 消耗部品(電池など)やUSBケーブルの破損は保証の対象外となります。
7. ご不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
8. 本保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
9. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

保証書

本保証書は、前記保証規定内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
 お買い上げの日から下記保証期間内に万一故障が発生した場合は、本書を提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 本書の再発行は行いませんので紛失しないように大切に保管してください。

品名	コードリーダー		
機種名	HCK-301	Serial No.	
保証期間	お買い上げ日より1年(本体)		
	お買い上げ日： 年 月 日		
お客様	お名前	様	
	〒		
	ご住所		
	お電話	TEL	
販売店	店名		
	住所		
	電話		

販売店様へ

本保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。
 贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

販売元 **株式会社 日立オートパーツ&サービス**
 〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見1-6-3

製造元 **カイセ株式会社**

お問い合わせ先

本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または(株)日立オートパーツ&サービスにお問い合わせください。

株式会社 日立オートパーツ&サービス

本社：〒210-0011 神奈川県川崎市川崎区富士見1-6-3

カスタマーサポートセンター TEL:03-3527-6323 FAX:03-3527-6324

特 販 部 TEL:03-3527-6235 FAX:03-3527-6238

■営業時間:9:00~17:30(土・日・祝日および弊社休業日を除きます)

